

1月のねらい及び今月の各クラスの自己評価・自己評価を踏まえての改善点・保護者と地域への子育て支援

月のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・友達同士のつながりを持ちながら、正月の伝統遊びを楽しむ。(かるた取り、こま回し、羽根つきなど。) ・冬の自然に関心を持ち、雪に親しむ。(雪だるま作り、そり滑り、スキーなど。)
-------	---

クラス名	年長児(さくら組)	年中児(うめ組)	年少児(たんぽぽ組)
自己評価	<p>こま回しに積極的に挑戦していた。うまくいかずに葛藤したり意欲をもてずにいる子も中にはいたが、保育教諭も一緒に挑戦したり競ったりする中で、少しずつ意欲が生まれ、できるようになる楽しさを感じたり、周りに認められる充実感を感じているようだった。</p>	<p>こま回しは、始めた頃は意欲に差があり、やる前から出来ないとい決めつける姿、出来る友達を見て焦り、意欲が下がる姿が見られた。この姿から、つまずいている子に手を添えて紐の巻き方を知らせ、一緒に回す関わりをする中で出来るようになり、次第に、友達の励ましやアドバイスを快く受け入れて挑戦してみる姿が見られるようになった。</p>	<p>戸外遊びを積極的に取り入れる。雪だるまを友達や保育教諭と協力して作ったり、雪合戦を楽しんだり、のびのびと体を動かしていった。遊んだ後の始末(スキーウェアをハンガーにかける、濡れた手袋を干す、砂で汚れた物はきれいに拭き返す)をやってみようとして挑戦しようとする姿が見られる。</p>
自己評価を踏まえての改善点	<p>友達が頑張っていることに気付いて、一緒に喜んで応援したり、言葉を掛けている姿を認めていく。身近な保育教諭がまずその手本となれるよう、こども達のいい所を褒めて伸ばしていき、自信や意欲へと繋げていく。</p>	<p>紐回しこまの援助をする中で、つまずきに対して丁寧に手立てを考え、自ら挑戦する意欲が高まるまで励まし、援助をする大切さを再認識した。生活場面において、何かに困っている姿、「どうやるの?」という声に丁寧に耳を傾け必要な援助をするように改めて心掛けていきたい。</p>	<p>自分の力で難しい時、そのままにしたり、適当に終わらせてしまう姿が見られる。やってみようとして挑戦する姿を認め、自信につなげていく。援助を必要としている場合は、一緒にやってみたり、方法を伝えたりしながら、丁寧に関わっていく。</p>
保護者と地域への子育て支援	<p>できるようになったことや挑戦している前向きな姿など、家庭と共有し成長を喜び合えるようにする。</p>	<p>複数人のグループで遊ぶことが増え、やり取りが一層難しくなっている姿が見られる。つまずきに対しての援助方法と葛藤しながらも成長していく姿を共有しながら園生活への安心と信頼感を高めていきたい。</p>	<p>挑戦する姿を共に見守っていけるよう、身の回りのことが自分でできるようになってきたことが喜びとなり、自信につながっていることを、家庭にお知らせする。</p>
クラス名	2歳児(すみれ組)	1歳児(ふたば組)	0歳児(つぼみ組)
自己評価	<p>体調を崩す子が多く全員が揃わない日もあった。体調の変化に気をつけながら過ごした。こま回し大会に向けて、こま回しに興味を持つ子が多かった。保育者が手を添えて一緒に回したりしながら、手の動かし方を知らせると、自分で回せるようになった子が増え、何回も遊びを楽しむ様子が見られた。また、今月よりトイレトレーニングを始めた子もあり、意欲的に布パンツを履いて過ごす姿が見られた。</p>	<p>正月遊びを1歳児でも安全に楽しめるように手作り羽子板、こまの製作を行った。回し方などの遊び方を伝えようと真剣に集中して取り組む姿が見られた。雪遊びでは少し冷たさや風では泣く姿もなく楽しむ姿にたくましさを感じた。</p>	<p>雪が少なく、なかなか雪遊びが出来ずにいるが、たまに雪が降った日は体調面も見ながら積極的に雪に触れることが出来た。始めは冷たさに泣いてしまう姿も見られるが、手袋に気付くことが出来る声掛けをしたりと、寒いだけで終わってしまわないような関わりをすることが出来た。</p>
自己評価を踏まえての改善点	<p>体調を見ながら、戸外散歩や園庭で雪遊びをし、冬を感じる機会を設ける事が出来た。時間を見ながら動と静の活動を上手に取り入れ、生活にメリハリを持たせていきたい。トイレトレーニングをしている子への排泄への声掛けを時間をみながら進めていく。</p>	<p>寒さに負けずに戸外遊びを楽しむ中で1人の子が風邪症状が出るとすぐに広がってしまう集団生活であるので、家庭とも連携したり、消毒や感染予防をしながら、健康な期間が長くなるように心掛けていきたい。</p>	<p>自分でやってみたり、友達のお世話、お手伝いがしてみたいという気持ちが芽生えてきて、始めのうちはお互い楽しく気持ちのいいやり取りが徐々にやり過ぎてしまいトラブルも増えてくる。お互いの気持ちを代弁したりと必要に応じて、必要な程度の仲立ちをしながら沢山の経験をさせていきたい。</p>
保護者と地域への子育て支援	<p>いろいろな事に興味を持ち、自分でやってみようとする姿を見守っていけるよう、園での様子や援助の仕方をお帳面などで知らせていく。</p>	<p>スキーウェアの着脱など身の回りの事を自分でしようとしている姿がある事や、トイレトレーニングなど園で取り組んでいることとお便りやお帳面で知らせ、自分でしようとしている姿を褒めながら、家庭でも取り組みやすいように伝えていく。</p>	<p>体調が今一つ…な状況が続いている。園での様子を伝えながら早めの体調の回復につながるようになっていきたい。また、お手伝いやお世話を楽しんでいる事も伝えながら、一緒に、見守っていきたい。</p>